抜ける転写紙｜MP-PLASTER Type-C

Type-C 作り方 表　基本編

マーク作り（すべての素材で共通）と、布・木・革への転写の手順です。
マグカップ・アクリル・缶バッジ・金属は、**裏面の「硬い素材編」**をご覧ください。

商品ページ
動画・最新の説明

開封後はなるべく早くお使いください（お買い上げ後6か月程度）。残った用紙は袋に戻して密閉し、直射日光を避け、乾燥した場所に水平に保管してください。

使うもの



白トナープリンター
WT835 など。カラーレーザー専用



ラミネーター
必須



プレス機
家庭用アイロンは不可

リケイ紙
当て紙
仕上げプレスに

マット
段差をなくす
縫い目・マチのあるバッグに

A　マーク作り　すべての素材で共通。②〜④は間を置かずに続けて



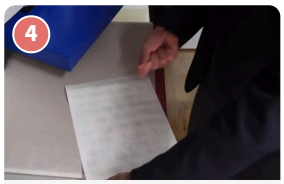
印刷
MPCシートのツルツルした面に、**鏡像（左右反転）**で印刷。給紙は1枚ずつ



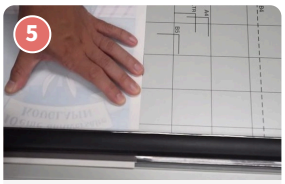
ラミネーター
印刷面とプラスターシートの糊面を合わせて通す



糊付けプレス
130℃・30秒 表裏1回ずつ・強圧。終わったら熱いうちに次へ



剥がす
熱いうちに、体のほうへ引き寄せるように**低い角度でゆっくり**



切る
四辺の糊を切り落とす。デザインと紙の端に1cmほど余白を残す

B　布・木・革への転写



転写
130℃・30秒 縫い目やマチの段差は、マットで消してからプレス



冷まして剥がす
転写紙の面を下にして**5分以上**。完全に冷めてから剥がす



仕上げプレス
リケイ紙を乗せて
130℃・30秒 で完成

素材	目安
トート・帆布 キャンバス・デニム	130℃・30秒。先に生地だけをプレスして、しわと湿気を取ると付きやすくなります
木材・革	素材との相性があります。同じ素材の端材で試してから本番へ
Tシャツ 薄手の衣類	Type-W・WL がおすすめです

うまくいかない時は

トナーが定着しない・ゴーストが出る
定着しないときはプリンターの設定で用紙の厚さを厚く、ゴーストが出るときは薄くしてください。

マーク作りでうまく抜けない
②〜④を間を置かずに続けてください。プレス機の表示温度と実際の温度がずれていることがあるので、実際の温度も確かめてください。

図柄の一部が紙に残る
剥がすのが早すぎます。完全に冷めてから、ゆっくり剥がしてください。

生地にしっかり付かない
圧力が足りないか、段差で浮いています。マットで段差をなくし、厚手の生地は時間を少し長めにしてください。

お取り扱い上の注意

- この用紙はカラーレーザープリンター専用です。それ以外のコピー機やプリンターでは使わないでください。トナー濃度80%以上の色でご使用ください。淡い色・白には白トナーが必要です。
- プレス機の表示温度と実際の表面温度には差があることがあります。十分にテストをして、お使いのプレス機に合った条件でご使用ください。
- リケイ紙は1枚で何度でも使えます。オーブンペーパーなどでも代用できますが、押し込む効果が少ないため、リケイ紙をおすすめします。
- この用紙の使用により生じた一切の損害に対する賠償には応じかねます（プリンター・ラミネーター・プレス機・素材を含む）。

企画・販売
株式会社クイックアート
https://pro.quick-art.com/
お問い合わせ：toiawase@quick-art.com／TEL 0776-33-7516

裏面：硬い素材編 →

抜ける転写紙｜MP-PLASTER Type-C

Type-C 作り方 裏　硬い素材編

マグカップ・アクリル・缶バッジ・金属に転写する手順です。
マーク作りは、**表面のA①〜⑤と同じ**です。シートも同じものを使います。

解説記事
写真・テスト結果


アクリルブロック


缶バッジ


黒い陶器マグ


昇華用のラメマグ


黒い金属トレー

POINT 1
ヒートバリアマットを重ねる
硬い素材では、基本的にヒートバリアマットを重ねてプレスします。

POINT 2
完全に冷ます
いちばん大事な工程です。冷めるまでの時間は素材や厚さで違い、10分以上かかるものもあります。**中まで完全に冷めた**のを確かめてから剥がしてください。

POINT 3
大きめの図柄から試す
細かい文字や細い線は、うまく乗らないことがあります。はじめは大きめの文字・太い線・面の大きい図柄で。

手順　マークを作ってから（表面 A①〜⑤）

使うもの　プレス機（マグはマグカッププレス機）・ヒートバリアマット・耐熱テープ・アルコール・手袋

1　汚れを落とす
洗って乾かし、アルコールで拭く。転写する面は素手で触らない

2　紙は大きめに
素材より大きめに切る。小さいと、糊のはみ出し方がそろわない

3　マットを重ねてプレス
テープで固定し、マットを重ねて
130〜135℃・約30秒

4　完全に冷ます
時間は素材で違います。**中まで完全に冷める**まで置く

5　ゆっくり剥がす
完全に冷めてから、低い角度でゆっくり

素材別の目安　社内で試した条件です。素材の厚さ・形・プレス機で変わるので、予備で試してから本番へ

素材	温度・時間	プレス機	冷めるまでの目安	メモ
アクリルブロック	135℃・30秒	平プレス＋マット	約30分	中に熱がこもるので、表面が冷めてもすぐ剥がさない
缶バッジ	135℃・30秒	平プレス＋マット	約10分	写真・イラストもきれいに乗る
マグカップ 昇華用コート済み・陶器	130〜135℃・約30秒	マグ用プレス機	完全に冷めるまで	社内テスト：家庭用食洗機7回（4機種）剥がれなし。お客様には手洗いを案内
金属トレー・金属板	130〜135℃・約30秒	平プレス＋マット	完全に冷めるまで	模様の強い板は細かい文字が埋もれる。大きな図柄で
ガラス	転写はできますが、食洗機1回で剥がれました			手洗いのみ。食器洗い乾燥機は使えません

うまくいかない時は

図柄の一部が紙に残る
まだ冷めきっていません。表面が冷めても中に熱が残っています。完全に冷めるまで置いてください。

細かい文字や細い線が欠ける
硬い素材では乗りにくくなります。文字を大きく、線を太くしてください。

付かない・すぐ剥がれる
油分・圧力不足・マットなしが原因です。脱脂し直し、マットを重ねてください。

糊のはみ出しが目立つ
紙を素材ぴったりに切ると、そろいません。大きめに切ってください。

お客様にお渡しするとき

商品に添える案内の例（素材に合わせて変えてください）
- 図柄は熱で転写したものです。やわらかいスポンジで手洗いしてください。
- たわし・研磨剤入りのスポンジ・電子レンジ・オーブンは使えません。



COLUMN　マグカップは、飲み口から離してプリントするのがおすすめです
転写した部分は、少し紙のような手ざわりに仕上がります。口に当たると違和感があるため、**飲み口から2cm以上離し、側面の中ほど**にプリントしてください。マグの内側など、食品や口が触れる面には転写しないでください。食器として販売する場合は、最寄りの保健所にご確認ください。



黒いマグや透明なアクリルに白を出すには、白トナーが必要です
WT835 白トナープリンタとプレス機があれば、Tシャツ（Type-W）から、トート・木・革・マグ・アクリル（Type-C）まで作れます。オンライン見学・相談（無料）、実演のご予約も受け付けています。

企画・販売
株式会社クイックアート
https://pro.quick-art.com/
お問い合わせ：toiawase@quick-art.com／TEL 0776-33-7516